福島成蹊高等学校
# 特進コースREPORT
2020年10月1日
第３号
福島成蹊高校広報室

## 福島フィールドワーク

**９月１９日（土）**
**成蹊高校～四季の里**

特別進学コースでは毎年、この時期に「福島フィールドワーク」を行っています。これは生徒が自分の体験として地元の「福島」を理解し、やがては一人ひとりが福島の良さを伝えることのできるスポークスマンとなることが目的です。

今年は新型コロナ感染症にも配慮し、大きな移動や密の状況を避け、学校から福島市荒井にある「四季の里」までの約１４㎞を歩くプログラムでした。

普段、見慣れた場所でも自分の脚で歩くことはめったになく、それぞれにさまざまな発見があったようです。天候にも恵まれ、あらためて福島の自然の美しさを感じることができました。

心地よい疲労の後の昼食は、四季の里の農園レストランで、なんと、ジンギスカン・しゃぶしゃぶの食べ放題・飲み放題！貸し切りにしていただけたので、気兼ねなく思う存分食事ができました。感染症防止のため、会話が十分にできなかったことは残念でしたが、高校生にとって「肉の食べ放題」以上にテンションの上がることはないようで、レストランの採算が心配される食べっぷりでした。

「福島フィールドワーク」は県内のさまざまな施設での研修や、登山など福島が誇る自然を味わうのが趣旨です。来年は本来のスタイルでの実施ができるといいですね。

四季の里までの１４kmのハイキングで、先輩方とどのような話ができるのか楽しみにしていました。

水林自然林の散策では、緑が豊かで空気も澄んでいて、心がとても癒されました。ここはTVドラマ『エール』の撮影地でもあるので、実際に見られてうれしかったです。

先輩方との関係も深まり、自然を感じて心もリフレッシュしたことで、日々の授業や生活もよりよいものにできるのではないかと思います。

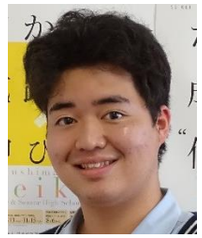
１年　髙野圭太郎さん
（福島大学附属中出身）

自分にとっては初めて通る道だったので、周りの景色や地形から何か新しいことを学びたいと思いました。

１４kmは長く、山に近づくほど道が急になりましたが、友だちと話しているとダメージは気になりませんでした。昨年は廃棄物処理施設での研修などの学びが中心でしたが、今年は絆を深めることができる活動でした。

今回の強歩は平坦ではなく坂道もあり、楽ではありませんでしたが、友人と助け合い前向きに進んでいればゴールにたどり着くという点で受験と似ていると感じました。

２年　七島皐太さん
（福島市立野田中出身）



今年は例年と違って合宿がなかったため、今回の行事では後輩たちや仲間たちと仲を深めたいと思いました。

長距離を歩くことがメインだったので、途中、疲れることもありましたが、互いに励まし合いながら歩き切れたことは自信につながりました。

地元の福島について知り、考えるよい機会となりました。将来、福島の事を語ることのできる人間となるためのよい経験であり、高校最後ともいえる思い出としても充実したものになりました。

３年　佐藤慈栄さん
（川俣町立川俣中出身）

## 受験ガイダンス　９月１７日㈭

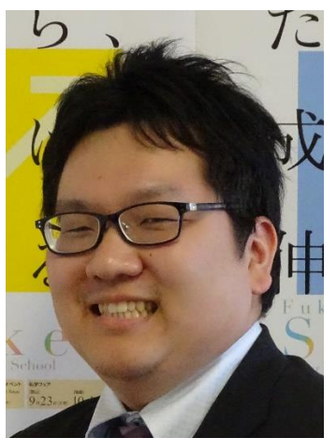
高校３年生対象に、大学受験に関する知識や手続等についての受験ガイダンスを行いました。大学受験を取り巻く状況は、毎年、激しく変化しています。特に今年は「大学入試改革」の最初の年ですので、いかに情報を把握して対応するかは命運を分けかねません。

例年は保護者の方にも来校していただいていたのですが、今年は感染症拡大防止のため、ガイダンス映像を用いて、生徒のみクラスごとに実施しました。保護者の方には動画チャンネルを通して見ていただくことになっています。

いよいよ大学受験シーズンも本格化していきます。人生の分岐点になるかもしれないチャレンジです。後悔のないよう、せいいっぱい取り組んでほしいと思います。

特進コースの先生に、生徒が「苦手な」「弱い」ポイントについて、学習方法を聞きました！

**苦手を克服！　国　語　中島悠杜　先生**



**①漢字・語彙の蓄積**

高校でも重要ですが、中学時の学習が定着していないことが多いようです。授業や新聞、ニュース問題演習などで分からない語句は調べる習慣をつけましょう。「見たこともない」→「なんとなく分かる」→「分かる」となるように、分からない漢字や語彙は日常的にしっかりと調べましょう。

**②国文法をしっかり定着**

中学校でも学習する「国文法」ですが、きちんと理解することが大事です。主語・述語の理解がしっかり定着していなければ、「その一文で何を言っているか分からない」などとなってしまいます。高校では文章が難解になっていくので、中学校のうちに基礎をしっかりと定着させましょう。

**③伝え合う力**

中学校でも話し合いの時間はあると思います。他者へ話すときには、分かりやすく伝えるためには内容の取捨選択、話の構成など、論理的に思考し伝えなければなりません。また、聞いて内容の整理をすることなどは読解に必要な能力を育みます。日々の授業で積極的に対話していって下さい。